

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年 2月 26日

事業所名 一般社団法人sun・rise

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2 職員の配置数は適切であるか	○			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		研修はもちろんであるが、朝礼や夕礼を通して子どもを見る視点や方向性の共有を行っている	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		保護者会を持って、もっと保護者や子どものニーズや課題を吸い上げようと考えている	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		適応行動の状況を図るためのアセスメントツールを使用していきたい
	12 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	13 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	○			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			
	16 (放課後等デイサービスのみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		長期休暇において、子ども達が活動に飽きないようなまた楽しめる企画をかんがえている	
	17 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			
	18 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		子どもの特性の理解や接し方等、支援開始前には確認・打ち合わせをしている	
	19 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		できなかった点、良かった点を持ち越しせずに振り返っている	
	20 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			
	21 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか		○		タイムリーな見直しを行っていけるようにしたいと考えている
22 (放課後等デイサービスのみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	○				
23 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		社会福祉士、精神保健福祉士を持ち、9年の相談支援実務経験のある相談専門員が参画している		
24 (児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		保健所や保育所・幼稚園と連携できている	現在は児童発達支援対象児はいない	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	25 (放課後等デイサービスのみの) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		まめに連絡を取り合い、学校との情報共有ができています	
	26 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	-	-		対象となる利用児童は現在いない
	27 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	-	-		対象となる利用児童は現在いない
	28 (児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	-	-		対象となる利用児童は現在いない
	29 (児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	-	-		対象となる利用児童は現在いない
	30 (放課後等デイサービスのみの) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○		通っていた保育所、幼稚園、児童発達支援事業所と情報共有はできている	
	31 (放課後等デイサービスのみの) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○		特性を伝え、次のステージで活動がスムーズにできるように情報を提供している	
	32 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			
	33 児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後は考えていく必要があるとおもっている
	34 (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	35 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		気付いた点や子どもの変化について保護者に伝え、課題についての共通理解をしている	もっと保護者会等の機会を増やそうと考えている
36 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		必要性を感じているので、今後は家族支援プログラムを取り入れていきたい	
保護者への説明責任等	37 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	38 児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	○			
	39 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		子育ての悩み等に対する相談には応じている	定期的に関わることができればと考えている
	40 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		強い認識のもとに支援していける資格もとり、現実的にやりたいと考えている
	41 子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		電話等で申し入れがあった際には、迅速かつ適切に対応している	
	42 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか		○		
	43 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			
	44 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		関わり方のヒント等を伝えている	
	45 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		
非常時の対応	46 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○		マニュアルの策定、周知は行っているが、訓練を定期的に行う必要があると考えている
	47 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○		火災訓練のみならず、地震等の発生に備えた訓練が必要だと考えている
	48 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○		利用の際のアセスメントシートに記入してもらうようにしている	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	○		利用の際のアセスメントシートに記入してもらうようになっている	
50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		身体拘束を行うべき利用児童は現在いない

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。